

式辞

柔らかな春の日差しが私たちをそっと包み、心の安らぎを感じる、暖かな「希望の春」がやってきました。この佳き日にあたり、多数のご来賓の皆様、卒業生保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙げてきますことを大変うれしく思います。誠にありがとうございます。ありがとうございました。

六年生の皆さん、卒業おめでとうございます。つつじが丘小学校での生活を通して、なかよい子、よく考える子、そしてたくましい子に成長した皆さんの姿が今、ひとときわ輝いて見えます。皆さんは、漫画家の鳥山明さんが描いた『ドラゴンボール』を知っていますか？

主人公の孫悟空は、自分よりずっと強い敵が現れて、絶体絶命のピンチになったとき、ニヤリと笑ってこう言います。

『おら、ワクワクすっぞ！』

普通なら怖くて逃げ出したくなる場面です。でも悟空は、ピンチを『自分がもつと強くなれ

るチャンス』だと、明るく前向きに捉えています。

けれど、悟空はただ『ワクワク』していただけではありません。

ピッコロ大魔王やベジータといった強い相手と戦う前には、神様や界王様のもとで、血の滲むような修行を積み、しっかりと準備を整えていました。

皆さんも、これから中学校という新しいステージに向かいます。勉強が難しくなったり、部活動で壁にぶつかったりすることもありますが、そのような時こそ、悟空のように『どうすれば乗り越えられるか』を自分で考え、努力する『修行』を大切にしてください。

前向きにチャレンジし続けていけば、悟空に多くの仲間や神様、界王様が現れたように、皆さんにも必ず助けしてくれる人が現れます。それは、ここにいる友達かもしれないし、先生や家族かもしれない。

でも、いつまでも助けを待っているだけでは

いけません。

ナメック星へ向かう宇宙船の中で、一人黙々と修行に励んだ悟空のように、『自分の力で強くなるう』という決意を持ってほしいのです。

逃げずに立ち向かった先には、皆さん一人ひとりにしか使えない、特別な『必殺技』が身につくはずです。それは、誰にも負けない優しさだったり、あきらめない根性だったり、夢中になれる特技だったりします。

どんなきも『ワクワクする心』と、自分だけの『必殺技』を武器にして、ピンチを跳ね返して行ってください。皆さんの未来が、太陽拳のように輝かしいものになるとを、心から応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。子どもたちは中学校への進学にあたり、さらに多感な時期を迎え、壁にぶつかることもあると思います。こうした時期であるからこそ、どうぞ温かく、しっかりと

目をかけ、心を寄せ、心と言葉を届け合いながら、大人への成長を見守ってください。子どもたちの中学校での更なる活躍を心から楽しみにしています。

結びとなりますが、本日卒業を迎えた六生の子どもたちと、ご臨席を賜りました全ての皆様の今後益々のご健勝・ご健康を心よりご祈念申し上げます。式辞といたします。

令和八年三月二十四日

帯広市立つつじが丘小学校

校長 萩原 啓司